

(毎月三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日十回發行)

# 縣報

第二百九十九號

明治卅七年三月六日

## 和歌山縣

### 公文

○和歌山縣令第十三號

明治三十四年一月和歌山縣令第三號市町村學事獎勵規程中第五條ヲ左ノ通り改メ第六條ヲ  
削除ス

明治三十七年二月廿九日

和歌山縣知事 伯爵 清 榎 家 敬

- 第五條小學校ニシテ本規程ニヨリ成績優良ナリト認ムル事項左ノ如ク
- 一 小學校ノ設備完整シテ他ノ模範トナスコト足ルモノ
  - 二 授業若クハ管理訓練ノ方法特ニ超越シテ他ノ模範トナスコト足ルモノ

○和歌山縣訓令甲第十一號

郡役所  
警察署  
警察分署  
市役所  
町村役場

戰役ニ際シ若ハ戰後ニ於ケル傳染病ノ流行ハ殆ント免レサルカ如シ現ニ明治十年西南ノ役及明治二十七八年日清戰役後ニ於ケル虎列拉病ノ流行ヲ來シタルハ親シク實驗セシ處ナリ今ヤ戰時ニ際シ露領浦潮斯德港ヨリ藤井縣敦賀ヲ經テ長崎市ニ歸着セシ女七名痘瘡ニ罹リ又臺灣基隆附近ニ肺ベスト患者四名發生ノ屬其筋ヨリ通報有之加フルニ縣地ノ亦劑、腸窒扶斯病ハ今尙ホ点發シテ其流行ヲ斷續シ未ク全ク終熄セス甚ク危險ノ至リナルヲ以テ宜シク既往ノ經驗ニ徴シ將來ヲ鑑ミ一般衛生上ニ警戒シ各自ノ衣食住ニ注意スルハ勿論病毒ヲ未萌ニ防グノ目的ヲ以テ此際速ニ定期清潔法ノ實行ニ着手シ週クモ四月末日迄ニ必ス之ヲ完了シ市々直ニ町村ハ郡役所ヲ經テ實施ノ狀況月日ヲ管廳ニ報告スヘシ

明治三十七年三月二日

和歌山縣知事 伯耆 清 棧 家 敬

○和歌山縣告示第六十號

今般内務省ノ起業ニ係ル河川ニ關スル事業トシテ日高川實測ノ爲メ之ニ要スル土地ニ立入  
ル測量スヘキ旨土地收用法第九條ニ依リ通知アリ

起業者  
立入ルベキ土地ノ區域  
内務省  
日高郡御坊町 蓮屋村 藤田村  
野口村 矢田村 丹生村  
早瀬村 松原村 和田村  
湯川村 志賀村

○和歌山縣告示第六十一號

明治三十七年度吳鎮守府ニ於テ徵募セラルヘキ陸軍志願兵就願者左記ノ通り徵募セラル就  
テハ志願ノ者ハ此際速ニ願書ヲ願書ノ部ハ町村役場郡役所市ノ市役所ヲ經テ提出スヘ  
但シ出願シ得ヘキ者ノ資格願書ノ記載方等ハ郡市役所又ハ町村役場ニ就キ承合スヘ  
明治三十七年三月二日  
和歌山縣知事 伯野 清 家 敬

水	兵	木	工	機關兵	看	護	主	厨	計
四〇〇	一〇	二三四	四	二二三					六六一

縣報第二百九十八號 明治三十七年三月六日 第三種郵便物認可 三

○和歌山縣告示第六十二號

本縣和歌山市衆議院議員選舉區ニ於テ有効投票ノ最多數ヲ得テ當選人ト決定シ當選證書ヲ  
贈與セン者左ノ如シ  
明治三十七年三月三日

和歌山縣知事 伯野 清 家 敬  
和歌山縣和歌山市七番丁一番地 兼 兼

○和歌山縣告示第二號

戰爭に際シ若シ戰爭後ニ於ける傳染病ノ流行するは殆んど免れざるが如し現に明治十年四  
南の役によリ明治二十七八年日清戰爭後ニ於て流行拉病大流行せし爲り被害を蒙りたるは  
親しく實踐せし處なり今故戰爭に際シ其交際したる關係諸病源に感染流行して温病を傳  
り且つ朝鮮内地に於て該病流行の兆有之との事にて連日同地方より顯井縣政府を以て長崎  
市へ歸着せし女七名體温に發り又連日連日同縣に歸ルモノ思召四名發生の由其筋より連日  
の次第も有之今茲 益有病地方と交通頻繁の時期に際すると同時に彼の恐るへき温病は何  
時如何なる關係より浸入するやも難計し若し一經病源の浸入して流行の慘狀を呈するに至  
らば隨て國民奉公の上に至大の影響を與ふるに至らむ 加之 縣内の赤痢病腸炎扶病病の

餘毒の尙ほ各所に潜伏し、隠然流行をなし甚だ危險の至りに付宜しく既往の経験に徴し將來を鑑み各自其衛生を重し衣食住に注意するは勿論、航海と米商に防々の手段として警務官吏の指示に従ひ定期消毒法を厳重施行し以て病源侵入の餘地なき様各自相警戒すへし

明治三十七年三月二日  
和歌山縣知事 伯爵 濱田 家 敬

○任命及辭令

○明治三十七年三月三日  
任和歌山縣海軍部書記  
東山 熊之丞  
鳥 川 清

任和歌山縣東本妻郡書記  
鳥 川 清

○明治三十七年三月二日  
警察部警務課長兼務ヲ免ス  
警 部 一 杉 竹 之 助

警察部警務課長ヲ命ス  
警 部 須 佐 廣 主

湯淺警察署鳥屋城分署長兼務ヲ免ス  
警 部 若 尾 尚 平

縣報第二百九十八號 明治三十七年三月六日 第三種郵便物認可 四

警察部保安課勤務ヲ命ス  
警 部 野 村 備 三

湯淺警察署鳥屋城分署長ヲ命ス  
警 部 柳 瀬 隆 三

警察部警務課勤務ヲ命ス  
警 部 九 山 操

○明治三十七年三月三日  
元和歌山縣海軍部書記 松 本 虎 楠  
在官滿三年餘ニテ退官ニ付金貲拾貳圓五拾錢給與  
和歌山縣海軍部書記 東 山 熊 之 丞  
給月俸拾圓  
和歌山縣東本妻郡書記 鳥 川 清  
給月俸七圓

○觀 測

明治三十七年三月一日ヨリ三日間當地氣象概況

種 類	月 日	三 月 一 日	三 月 二 日	三 月 三 日
	前 年 本 年	前 年 本 年	前 年 本 年	前 年 本 年

可圖物便郵三第日八月五年三十三治明

明治三十七年三月五日  
明治三十七年三月六日

(和歌山縣)

和歌山縣

和歌山縣  
和歌山縣  
和歌山縣

	霜
	午後五時 二分海上 風雨ノ響 概無除
	霜ア?

照報第二百九十八號

明治三十七年三月六日

第三種郵便物認可

五終

平均氣壓	平均氣溫	最高氣溫	最低氣溫	最多風向	平均風力	天氣	雨量	記事
七五九純六	七度七	一〇度〇	四度五	北東	三米〇	曇小	〇純〇	午前九時 廿五分海 上風雨ノ 警報到着 夕刻微雨
七六一純六	八度二	一四度一	二度〇	北東	二米五	晴		午後四時 廿七分海 上風雨ノ 警報着電 月曇及始
七六一純九	八度八	一四度八	二度七	北西	二米八	晴		午前九時 〇五分海 上風雨ノ 警報着電 霧ア?
七五七純二	九度四	一四度〇	六度三	東	三米七	雨後晴	三四純一	前夜中 午前十 一時十分 臨時雨 積
七六五純五	八度六	一六度〇	一度九	北東	二米五	晴		午前八時 十四分五 十三秒 二秒間 ノ微雨
七六六純一	六度七	一一度〇	二度三	北々東	四米五	晴		月曇及月 霧